

「キョービのビョーキ」

塾長／北村想(プロジェクト・ナビ)

総合演出／田中孝弥(清流劇場)

演出／中村賢司(鋼鉄猿廻し一座)、奥野将彰(水の会)、

芳崎洋子(糾〜あざない〜)、田中孝弥、他

作／大越康善、大平正寿、影山薫、坂本郁子、杉山友美、

中村亜弥、原真、水島千鶴、山口真史

出演／鋼鉄猿廻し一座、清流劇場、糾〜あざない〜、水の会、他

舞台監督／岡一代(池田意匠事務所)

音響・照明／後エスエフシー

日時

5月31日(土) 19:00

6月 1日(日) 15:00

※開場は開演の30分前、開演の1時間前より整理券を発行します。

会場

アイホール

(JR伊丹駅前) ☎072-782-2000

料金

前売:1,000円 当日:1,200円(全席自由)

チケット取扱い・お問合せ

アイホール ☎072-782-2000

E-MAIL: aihall@juno.ocn.ne.jp

URL: http://www6.ocn.ne.jp/aihall/

主催

伊丹市・(財)伊丹市文化振興財団

アイホールの戯曲塾・伊丹想流私塾(いたみそりゅうしじゅく)の卒業公演。
社会に蔓延する「ビョーキ」に塾生たちがメスを入れた
短編作品を二挙上演します。

今期の塾生、卒業制作のお題は『キョービのビョーキ』であります。もちろん、私はビョーキです。まず、神経症で鬱病で、さらにアレルギー性喘息です。そこへきて、アルコール依存症です。それから、高脂血症で、脂肪肝です。辛い毎日ですが、これで死ねるならそれでいいかと考えてます。私は自殺する度胸がないので、病気で死ぬしか死ぬ方法がなく、60歳くらいを目処に何とか、逝去という方向でもっていきたく願ってます。しかし、最近、もっと早く死ぬのではないかという気がしてきました。戦争になればいいんです。イラクみたいに。北朝鮮も根性みせて、アメリカ西海岸にテポドン2を撃ち込むくらいせなあきません。吠えるだけやのうて、実際にやってみせなあきません。イラクはたしかにビョーキです。しかし、アメリカもビョーキです。北朝鮮だって、ビョーキなんですから、ビョーニンはもう、早いとこ、楽になったほうがいいんです。

バカは死ななきゃ(あるいは死んでも、あるいは焼かなきゃ)治らない、です。アジアでは治療法のない肺炎が蔓延してきます。細菌兵器が漏れたんです、きっと。みんな戦争で死にます。ビョーキで死にます。神さんも仏さんありません。

私たちの21世紀はこんなに暗いのでしょうか。かくも、夢や希望がナイのでしょうか。しかし、「暗いと不平をいうよりもずんで明かりを点けましょう」「世界の終わりが明日だとしても、私は今日林檎の種を蒔く」というコトバもごぞいます。今期卒業公演が、その試みの一つになれば、それこそが、幸いにいたる道のひとつでございます。

北村想